

畜 号 外
平成26年12月16日

全国農業協同組合連合会岩手県本部長
岩手県農業共済組合連合会会長理事
一般社団法人岩手県畜産協会会長理事
一般社団法人岩手県獣医師会会長
一般社団法人岩手県農畜産物価格安定基金協会理事長
一般社団法人岩手県配合飼料価格安定基金協会理事長

様

岩手県農林水産部畜産課総括課長

宮崎県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
このことについて、農林水産省及び宮崎県、大分県から、別添のとおりプレスリリースされましたのでお知らせします。
つきましては、貴会員等に周知のうえ、農場へ立ち入る場合の車両消毒等、発生予防対策に引き続きご協力をお願いします。



【振興・衛生担当（本波 美香）TEL019-629-5722】

プレスリリース

平成 26 年 12 月 16 日
農 林 水 産 省

宮崎県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について

宮崎県における高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例については、遺伝子検査の結果、H5 亜型であり、本日、疑似患畜であることが確認されました。
また、あわせて、別添のとおり、総理指示がありましたのでお知らせいたします。

1. 概要

宮崎県における高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例については、遺伝子検査の結果、H5 亜型であり、本日、疑似患畜であることが確認されました。

現在、NA 亜型については独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所において検査中です。

<添付資料>

- ・ 総理指示

お問い合わせ先

消費・安全局動物衛生課

担当者：三宅、下平

代表：03-3502-8111（内線 4581）

ダイヤルイン：03-3502-5994

FAX：03-3502-3385

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>

(1 / 1)

(鳥インフルエンザ事案)

総理指示

- 現場の情報をしっかり収集すること。
- 農林水産省はじめ関係各省が緊密に連携し、徹底した防疫措置を迅速に進めること。
- 国民に対して正確な情報を迅速に伝えること。

Press Release

平成26年12月15日
宮崎県農政水産部
畜産新生推進局

高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例の発生について

本日、家畜伝染病「高病原性鳥インフルエンザ」が疑われる事例が延岡市の養鶏場で確認されました。
なお、現時点では、簡易検査でA型インフルエンザ陽性が確認されたのみで、「高病原性鳥インフルエンザ」が確定したわけではなく、現在行っているPCR検査において、陰性となる場合があります。

1 農場の概要

所在地：延岡市北川町
飼養状況：飼養羽数 約4,000羽

2 経緯

- (1) 昨日、当該農場において、死亡鶏が増加したため、農協技術員が簡易検査を実施したところ陰性を確認した旨通報
- (2) 本日午前11時30分、当該農場から延岡家畜保健衛生所（以下、「家保」）に死亡鶏が増加した旨通報
- (3) 家保が当該農場から持ち込まれた飼養鶏を調査し、鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性を確認
- (4) その後、宮崎家畜保健衛生所における簡易検査の結果についても陽性を確認。

3 防疫対応

- (1) 県では念のための緊急的な措置としてPCR検査が終了するまでの間、以下の対応を実施します。
 - ① 当該農場の飼養鶏の隔離
 - ② 周辺農場に対する移動自粛の要請
 - ③ 当該農場周辺の飼養農場の状況等についての早急な把握
- (2) 宮崎家畜保健衛生所でのPCR検査の結果及び死亡羽数の状況等から高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と判明した場合は、飼養家さんの殺処分、発生場所の消毒、周辺農場における法的な移動制限等、必要な防疫措置をとることとしています。

※移動の制限：鶏等の家きん、病原体を拡げるおそれのある物品等を対象とし、当面、発生農場を中心とした半径3 km以内の区域で実施。

(参考) 移動制限、搬出制限区域内の養鶏場数及び飼養羽数

区域	農場数	飼養羽数
移動制限区域 (3 km以内)	1戸	8,280羽
搬出制限区域 (10km以内) (※上記除く)	1戸	6,500羽

4 その他

- (1) 我が国ではこれまで家きん肉、家きん卵を食べることにより、人に感染した例は報告されていません。
- (2) 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれもあること、また農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いします。
- (3) 今後とも、本件に関する情報提供に努めていきますので、生産者等の関係者が根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いします。

(お問い合わせ先)

農政水産部 畜産新生推進局

担当者：谷之木、藤井

電話：0985-26-7140

0985-26-7139

プレスリリース

平成26年12月15日
大分県農林水産部

宮崎県における高病原性鳥インフルエンザ疑い事例の発生を受けての対応

12月15日、宮崎県延岡市北川町の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザを疑う事例が確認された旨の連絡がありましたので、その概要と大分県の対応状況について、お知らせします。

【宮崎県の状況】

1 発生農場の概要について

所在地：延岡市北川町 飼養状況：飼養羽数 4,000羽

2 経緯

- (1) 12月15日午前11時30分、当該農場から延岡家畜保健衛生所に死亡鶏の増加
(2) 延岡家保、宮崎家保による鳥インフルエンザの簡易検査の結果陽性を確認

3 防疫対応

- (1) PCR検査が終了するまでの間、以下の対応を実施。
①当該農場の飼養鶏の隔離 ②周辺農場に対する移動自粛の要請
③当該農場周辺の飼養農場の状況等についての早急な把握
(2) PCR検査の結果等、高病原性鳥インフルエンザの疑似患者と判明した場合は、飼養家さんの殺処分、消毒、周辺農場における法的な移動制限、防疫措置を実施。

【大分県の状況】

1 防疫対応

(1) 大分県における制限区域内の飼養状況

区 域	農場数	飼養羽数
移動制限区域（3 km 以内）	該当なし	該当なし
搬出制限区域（10km 以内）（上記除く）	1戸	4,800羽

(2) 当面の対応

家畜保健衛生所による県内の飼養農場全戸に対する早急な清浄性確認、異状が確認された場合の早期通報並びに車両消毒ポイントの検討。

なお、12月16日（火）8時30分より、大分県特定家畜伝染病総合対策本部・幹事会を開催します（本館91会議室）。（取材は冒頭のみでお願いします。）

【報道機関へのお願い】

農場での取材は、本病のまん延防止を引き起こす恐れもあること、また農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いします。

(問い合わせ先)

農林水産部畜産振興課
担当者：吉田 武石
電 話：097-506-3678
097-506-3674